

|                                                                                                                 |                                                                          |     |     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| ふりがな<br>氏 名                                                                                                     | たむらさだあき<br>田 村 禎 章                                                       | 職 名 | 講 師 |
| 取得学位                                                                                                            | 修士（社会福祉学）                                                                |     |     |
| 学 歴                                                                                                             | 中部学院大学大学院人間福祉学研究科人間福祉学専攻 修士課程修了                                          |     |     |
| 所属学会                                                                                                            | 日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、<br>日本保育学会、日本保育ソーシャルワーク学会、ウェルビーイング学会 |     |     |
| 教 育 活 動                                                                                                         |                                                                          |     |     |
| (主な担当科目)                                                                                                        |                                                                          |     |     |
| 2026 年：健康福祉概論、生活支援技術、レクリエーション論                                                                                  |                                                                          |     |     |
| 2025 年：健康福祉概論、生活支援技術、レクリエーション論                                                                                  |                                                                          |     |     |
| 2024 年：ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習                                                                          |                                                                          |     |     |
| 2023 年：ソーシャルワーク論、福祉教育特講、レクリエーション理論・実技                                                                           |                                                                          |     |     |
| 2022 年：社会福祉、レクリエーション論、福祉教育特講                                                                                    |                                                                          |     |     |
| 2021 年：社会福祉、レクリエーション論、福祉教育特講                                                                                    |                                                                          |     |     |
| (その他；教育・研究活動)                                                                                                   |                                                                          |     |     |
| ・(社福) 岐阜県社会福祉協議会 福祉教育研修講師 2024 年 4 月～現在                                                                         |                                                                          |     |     |
| ・(社福) 三重県玉城町社会福祉協議会 地域福祉共育推進アドバイザー 2008 年 4 月～現在                                                                |                                                                          |     |     |
| ・(社福) 三重県川越町社会福祉協議会 地域福祉教育推進アドバイザー 2008 年 8 月～現在                                                                |                                                                          |     |     |
| 研 究 活 動                                                                                                         |                                                                          |     |     |
| (著書等)                                                                                                           |                                                                          |     |     |
| ・『輝く子どもたち 子ども家庭福祉論（第 3 版）』（分担執筆）みらい、2025 年                                                                      |                                                                          |     |     |
| ・『三重県版介護実習の手引き・介護実習ノート』（共同編集）三重県介護福祉士養成施設協議会・中央法規出版、2022 年                                                      |                                                                          |     |     |
| (論文等)                                                                                                           |                                                                          |     |     |
| ・「教員養成課程における学外レクリエーション体験の教育的意義と学生の成長への影響」（共著）東海学院大学短期大学紀要 NO51、2025 年                                           |                                                                          |     |     |
| ・「保育現場と養成課程におけるレクリエーション技術の有効性－現役保育士と学生の視点からみた実践的効果の検証－」（共著）『大垣女子短期大学紀要』第 66 号、2025 年                            |                                                                          |     |     |
| ・「生成 AI によるデジタル技術の活用と福祉教育の推進について－地域共生社会に求められるコミュニティデザインを手がかりに－」（単著）『公共と文化』Vol.3、2025 年                          |                                                                          |     |     |
| ・「レクリエーションボランティアを経験した学生を対象としたレクリエーション授業に対する意識調査の分析－『AI テキストマイニング』を活用した分析から見てきた事前指導の重要性－」（単著）『公共と文化』Vol.2、2024 年 |                                                                          |     |     |
| ・「教員養成課程の学生の地域レクリエーション活動における学び－A 大学の学生の意識調査結果から－」（共著）『岐阜聖徳学園大学教職教育研究センター紀要』第 23 号、2024 年                        |                                                                          |     |     |
| ・「ソーシャルワークを理解するためのリフレクションツールの提案－紙方式の大福帳と Web 方式のデジタルリフレクションの融合－」（単著）『椋山女学園大学研究論集』第 55 号 社会科学篇、2024 年            |                                                                          |     |     |



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・「コロナ禍における教育リフレクション活動の有効化の試みー「大福帳」ツールの分析比較からー」(共著)『ユマニテク短期大学紀要』第7号、2023年
- ・「A幼稚園における発達障がい児への幼児体育指導の実践ーレクリエーションを幼児体育指導に取り入れることの有効性の検証からー」(共著)『ユマニテク教育研究所』第2号、2023年
- ・「地域ボランティア実践における学生ボランティアの研究」(共著)『ユマニテク短期大学紀要』第5号、2022年
- ・「ボランティア活動に対する意識差と理解」(共著)『ユマニテク短期大学紀要』第6号、2022年
- ・「『赤堀ふれあいまつり』のボランティア活動の効果」(共著)、『ユマニテク教育研究所』創刊号、2022年

(研究発表・調査報告等)

- ・「ふくしと学びの交差点から考えるー〈ふだんのくらしのしあわせ〉を支える福祉教育(巻頭言)」(単著)『ふくしと教育』第43号、2025年12月
- ・「『笑顔で健康長寿!いきいきレクリエーション教室』調査研究報告書ーねんりん世代における身体・認知・心理への効果検証を通してー」(共著)岐阜県庁ねんりんピック推進室、岐阜県レクリエーション協会、2025年11月
- ・「トップアスリート誕生秘話ー『天才を作る親たちのルール』(書評)」(単著)『ふくしと教育』第42号、2025年10月
- ・「地域福祉センターの存在意義をめぐる住民主体形成に関する一考察ーG県T市K地区の全戸調査の結果を踏まえてー」(共同)日本社会福祉学会第73回秋季大会、2025年10月
- ・「マリア・モンテッソーリ教育学と家庭教育」自主企画シンポジウム(共同)日本保育学会第77回大会プログラム、2024年5月
- ・「ポストコロナ時代における公開講座の運用事例」(共同)国際ICT利用研究学会 第12回研究会、2023年10月
- ・「幼児教育におけるダイバーシティ」(単独)第19回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム報告集、2023年10月
- ・「モンテッソーリ教育学と子ども教育における現代的視点を探る」自主企画シンポジウム(共同)、日本保育学会第76回大会プログラム、2023年5月

社 会 活 動

- ・2025年10月～現在 ぎふ清流文化プラザ 評価員
- ・2025年4月～現在 岐阜県高齢者安心計画作成・推進会議 構成員
- ・2025年4月～現在 岐阜県介護福祉士養成施設協議会 評議員・事務局長
- ・2022年4月～現在 川越町子ども・子育て会議 会長
- ・2021年1月～現在 市民福祉教育研究所 主宰
- ・2009年4月～現在 (一社)岐阜県レクリエーション協会 専務理事
- ・2005年6月～現在 日本福祉教育・ボランティア学習学会 会員



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY